

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 1年 11月 15日

事業所名: ハビネス国際放課後等児童デイサービス

公表:令和2年3月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	学習、創作活動等、活動に応じてスペースを分けている	他の子どもとのトラブル、パニックや興奮状態の時に落ち着けるような個別スペースの確保が必要である
	② 職員の配置数は適切である	7	0		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	7		車いす利用の子どもも受け入れ可能できるよう今後配慮が必要である。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	7	0	改善提案の提出を行っている	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0		
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	事業所内での勉強会の他、公的研修に参加している	公的研修に参加後、勉強会にて研修内容を全職員が周知し資質の向上を行う
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	相談支援専門員のケアプランを基に計画を作成している	段階を踏んで達成目標に向けた支援計画を作成していく
	⑩ 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	常に子どもの様子について伝え合い状況に応じての活動プログラムを立案している	集中力を養う活動やコミュニケーション能力の向上を図るような活動プログラムを取り入れていきたい
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	定期的に、知育玩具や活動材料等を補充している	様々な年代の子どもに適した知育玩具等を導入する
	⑬ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	学習等個別なものと遊び等集団で行うものなど時間帯で分け計画している	
	⑭ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	子どもの状況をネームプレートで表示されている	全体での申し送りにて、全職員で確認し不在職員も把握できるように申し送りノート等を活用していく
	⑮ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	気づいたことは、その都度、又は後で連絡している	全体での申し送りにて、全職員で確認し不在職員も把握できるように申し送りノート等を活用していく
	⑯ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	リトム等にあったこと等記入し確認できるようにしている	
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0		



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	⑳ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2	アセスメント、モニタリングを行う際に関係機関の情報提供をお願いし確認している。	
	㉑ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	必要なこと、子どもの姿等伝えてもらっている	
	㉒ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	研修に参加している	研修に参加後、勉強会にて研修内容を全職員が周知し資質の向上を行う
	㉓ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	2		
	㉔ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	7		会議等の情報収集を行い積極的に参加できるようにしていきたい
	㉕ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	必要に応じて伝え合い共通理解に努めている	
	㉖ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	ペアレント・トレーニングの研修会で学んだことを取り入れた支援を行っている	ご家庭、事業所共に同じ方向性にて支援していくよう努める
	㉗ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	㉘ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	あればその都度対応している	
保護者への説明責任等	㉙ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	交流の場を設けている	年1回のハビネスパーティーの他にも、年間行事等保護者も参加できるような機会を増やしていく
	㉚ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	直ぐに連絡をとるようにしている	
	㉛ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	活用の様子など写真を用いた会報を発行している。	
	㉜ 個人情報に十分注意している	7	0	個人情報保護について勉強会にて職員が周知している	
	㉝ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	個人情報保護について勉強会にて職員が周知している	
	㉞ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		子どもの適応行動等を配慮し現在行っていないが地域に開かれた事業を目指したい
	㉟ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0		保護者に周知していただく必要がある
	㊱ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年2回、避難ルートを変更し、訓練を行っている	
	㊲ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		
	㊳ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	解除までの経過観察・再検討記録も持っている。	子どもの心身状態や課題について保護者と密に伝え合い解除に向けての共通理解を図っていく
非常時等の対応	㊴ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	アセスメントにて食物アレルギーの有無、医師の指示の有無について確認している。	
	㊵ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	勉強会にてヒヤリハット検証を実施している	

【事業所における自己評価集計結果グラフ】

